学校番号	１００７

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地理探究」（二宮書店） 「基本地図帳」（二宮書店）						
副教材等	「CONNECT 地理総合」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世の中の出来事が地理と密接に結びついていることを学ぼう。
・様々な地図や統計に触れる中で物事を考える土台を作り、視野を広げよう。
・一つ一つの授業を大切に、受け身にならず、自ら考えることを大切にしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
　地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解できる。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	**第Ⅰ編　第1章　自然環境**	①地形 ②気候と生態系 ③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災 ⑤地球環境問題	a「地形」「気候と生態系」「世界各地の自然と生活」「日本の自然環境と防災」「地球環境問題」に関わる諸事象の規則性、傾向性などについて理解することができる。地図やGISを用いて、それぞれの単元に関する情報を適切に読み取り、まとめることができる。 b「平野の地形」「気候の地域性」「各気候帯での人々の暮らし」「自然災害と防災」「気候変動の影響」などの主題を基に、どのような背景があるのか、人々の生活にどのような影響を与えているかなどについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c「地形とその利用」「気候の変化と生態系の維持」「世界各地の自然と生活」「日本の自然環境と防災」「地球環境問題」について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅰ編　第2章　資源と産業	①農林水産業 ②資源･エネルギー ③工業 ④第３次産業	a「農林水産業」「資源・エネルギー」「工業」「第３次産業」に関わる諸事象の規則性、傾向性、現状や問題の解決に向けた解決の取り組みについて理解することができる。 　地図や統計などを用いて、それぞれの単元に関する情報を適切に読み取り、まとめることができる。 b「食料問題」「エネルギー資源の課題」「工業生産のグローバル化」「サービス経済化」などの主題を基に、どのような地域性があるのか、どのような影響を与えているか、多面的･多角的に考察し、表現することができる。 c「農林水産業の変化」「資源・エネルギーの生産と消費」「工業の発展」「産業構造の変化」について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

2学期	第Ⅰ編　第3章　人・モノ・金のつながり	①交通・通信 ②貿易・観光	a「交通・通信」「運輸・観光」に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性、現状や問題の解決に向けた取り組みについて理解することができる。 　地図やGISなどを用いて、それぞれの単元に関する情報を適切に読み取り、まとめることができる。 b「交通と通信の課題」「経済連携」や「観光の多様化」などの主題を基に、どのような変化や課題があるのか、どのような影響を与えているか、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c「交通と通信の発達」「経済連携の進展や観光の多様化」について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅰ編　第4章　人口、村落・都市	①人口 ②村落・都市	a「人口」「村落・都市」に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性、現状や問題の解決に向けた取り組みについて理解することができる。 　地図や統計、GISなどを用いて、それぞれの単元に関する情報を適切に読み取り、まとめることができる。 b「少子高齢化」「世界の居住空間」などの主題を基に、どのような変化があるのか、どのような背景があるのか、などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c「世界及び日本の人口問題」「世界の都市問題」について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅰ編　第5章　文化と国家	①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域	a「生活文化と言語・宗教」「国家とその領域」に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性、現状や問題の解決に向けた取り組みについて理解することができる。 　地図やGISなどを用いて、それぞれの単元に関する情報を適切に読み取り、まとめることができる。 b「生活文化の多様性」「世界の民族」「日本の領域・領土」などの主題を基に、どのような相違点があるのか、どのような背景があるのか、などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c「生活文化と言語・宗教」「世界の民族」「日本の領域・領土」について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅱ編　第1章　地域区分	①地域区分	a 地域の概念や地域区分の意義、有用性を理解し、地域区分の方法を身につけている。 　地域区分の学習を通して、現代世界の多様性・多面性について理解することができる。 b 州や自然、文化、国家群などで地域を区分する方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 　地域区分の概念、意義を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 c　現代世界をいくつかの地域に区分する方法や、地域の概念、地域区分の意義、その有用性を基に、地域区分に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、かつ活用しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅱ編　第2章　現代世界の諸地域	①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア ④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	a「中国」「朝鮮半島」「東南アジア」「南アジア」「西アジア・中央アジア」の歴史的背景や自然、文化、民族、産業、地域間連携などについて経済成長や多彩な文化などと関連づけながら、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 b「中国」「朝鮮半島」「東南アジア」「南アジア」「西アジア・中央アジア」の歴史的背景や自然、文化、民族、産業、地域間連携などについて経済成長や多彩な文化などと関連づけたことを多面的・多角的に考察し適切に表現することができる。 c「中国」「朝鮮半島」「東南アジア」「南アジア」「西アジア・中央アジア」の自然や産業、民族、経済成長の要因、都市・居住問題の要因やその対策などについて他の地域と比較し意欲的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

3学期	第Ⅱ編　第2章　現代世界の諸地域	⑥北アフリカ・ サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア ⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国	a「北アフリカ・サブサハラアフリカ」「ヨーロッパ」「ロシア」「アングロアメリカ」「ラテンアメリカ」「オーストラリア」「ニュージーランドと島嶼国」の歴史的背景や自然、文化、民族、産業、地域間連携などについて経済成長や多彩な文化などと関連づけながら、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 b「北アフリカ・サブサハラアフリカ」「ヨーロッパ」「ロシア」「アングロアメリカ」「ラテンアメリカ」「オーストラリア」「ニュージーランドと島嶼国」の歴史的背景や自然、文化、民族、産業、地域間連携などについて経済成長や多彩な文化などと関連づけたことを多面的・多角的に考察し適切に表現することができる。 c「北アフリカ・サブサハラアフリカ」「ヨーロッパ」「ロシア」「アングロアメリカ」「ラテンアメリカ」「オーストラリア」「ニュージーランドと島嶼国」の自然や産業、民族、経済成長の要因、都市・居住問題の要因やその対策などについて他の地域と比較し意欲的に追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

	第Ⅲ編　現代世界におけるこれからの日本の国土像	①現代日本に求められる国土像	a 自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，現代世界における日本の国土の特色や諸課題について，個人や国，国際社会などからの多角的で客観的な視点を身につけることができる。 　日本がかかえる地理的な諸課題を探究する過程において，主体的に課題を設定して探究し発表するという過程を通し，課題解決への視点や方法を身につけることができる。 b　自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色について，これまでの地図・系統的・地誌的学習をふまえ様々な視点から客観的に考察し，その過程や結果について適切に表現することができる。 　日本がかかえる地理的な諸課題の形成要因について考察し，その過程や結果，今後の改善策について適切に表現することができる。 c 自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色や諸課題について関心を高め，その解決の方向性や将来の国土のあり方について意欲的に追究しようとしている。 　さまざまな視点から多面的・多角的に分析・考察し，仮説の検討を進めることにより，将来の国土像について積極的に展望しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント レポート	ノート プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度